



湧き水ワッキー

# 和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 159 号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2015 年 12 月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力)	樹林公園
27 年 12 月	22 日 「和光市マップ」協働事業のプレゼン	19 日(第 3 土) 定期保全	12 日白子宿富澤保全 16 日大坂保全協力	2 日 県土と樹木 現地打ち合わせ
28 年 1 月	22 日(金) 岩宿遺跡と渡良瀬遊水地視察研修会 (バス研修会)	16 日 定期保全	13 日白子宿富澤保全 20 日大坂保全	

## 1. 小学生と保護者が参加の湧き水めぐり「親子和光湧き水散歩」11 月 28 日

小学生と保護者の参加で総勢 30 名が中央公民館に集まり、9 時半過ぎに「和光湧き水散歩」がスタートしました。深まる秋の好天に恵まれた川越街道をたどり、白子湧水群の地層を見学し、富澤湧水、熊野神社、大坂ふれあいの森の湧き水調べボランティアを体験、白子宿の湧き水文化に触れ、さらに馬頭観音に立ち寄りその歴史を知り、公民館に帰ってくるコースです。このコースは、今ある和光の自然の特徴を知り、その自然の恵みと歴史を同時に体感できる周遊コースです。中央公民館が主催、湧き水の会が企画・資料作成をし、湧き水の湧く地質や特徴を知ってもらい、白子宿に関連した歴史もあわせて案内しました。

アンケートによる皆さんからの感想では、和光にもこのような場所があったことを初めて知った、楽しかった、とても勉強になった、地質の粘土が楽しかった、などなど大変好評でした。今後もイベントに参加したい、情報を知らせてほしいなど会の活動に興味を持ってもらえたようです。最後に公民館の講義室では市内の主な緑地湧水地を簡単に紹介し、参加証を皆さんに渡しました。初めて会った子供たちでしたが、途中からすっかり打ち解けて仲良しになっていったことも良かったです。いろいろ工夫し準備した甲斐がありました。

画像で主なところを紹介します。



秋晴れの散歩日和



街道沿いの道標で歴史を知る



湧き水に触ったら冷たくないね



都市部では貴重な湧き水の地層



大坂で緑に囲まれた自然体感



馬頭観音の歴史を聞く